



葵会デイサービスにて

明日に続く平和と、格差のない社会へ、力を合わせて!!

昨年は、憲法9条を破壊する安保法制が国会で通過しました。日本弁護士連合会をはじめ、学者、大学生、高校生、ママの会など、全国各層から批判の声が挙がりました。私たち職員も、抗議のFAX運動や集会への参加を通し、憲法の平和主義・民主主義・基本的人権を守るために運動してきました。

また医療・介護総合確保法に基づく大改悪が進められた1年でした。要支援1.2を介護保険から外し、市町村の総合事業に移行させる(京都市は平成29年から実施)、介護保険利用料への2割負担、介護施設の食事・部屋代の補足給付の厳格化、特養入所を要介護3以上にする等、利用者の負担はますます増大し、利用制限がすすめられています。どれもが命や暮らしを脅かすものであり、許すことができません。

私たちは、介護や医療に従事する者として、国の進む方向を正し、誰もがいつでもどこでも安心して暮らし続けてられるまちづくりに本気で取り組んでいきたいと思えます。皆様のご協力やご支援をひきつづきよろしく願いいたします。

2016年 葵会総合ケアステーション職員一同

私たちの理念

私たちは、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。また利用者を介護される方の負担の軽減を図ることにより、利用者が居宅での生活を維持できるように支援します。

私たちは、利用者に対して親切丁寧、公平を絶えず心がけ、常に利用者とその家族の立場を理解して、利用者の安全と信頼をえられるよう、言動に注意をはらいながら業務を遂行します。

私たちは、前記基本理念を実践する立場にたち、諸規定に定めた各条項を遵守するとともに、法人の指示、通達に従い職場秩序を維持し誠実にその職務に従事し、責任を遂行します。

今があるさ 明日があるさ 明後日に続く、私の夢

私

の

夢



うだ とくこ
宇田 徳子さん

傷が早くよくなって、うなぎやケーキなど美味しいものが一杯食べたい。

くぼ みちこ
久保 美智子さん



私の大好きな優しいお姉ちゃんは、祇園宮川町の現役の芸妓さんです。

そのお姉ちゃんを思いながら、芸妓さんの絵を描くのが大好きです。

病気もあって、時に動けなくなる手ですが、これからもずっと絵を描くのが、私の夢です。



てらい みきお
寺井 幹雄さん

私は63歳です。去年、脳梗塞を思い、左手・左足にマヒが残りました。

リハビリを週2回続けて、だんだんと左手と左足が動くようになりました。

以前、仏壇・仏具の修理や寺院の備品を納入する仕事を、自営でやっておりました。京都から和歌山の得意先のお寺を、車を運転して廻っていました。

私の夢は、再び、車を運転して得意先のお客様をめぐり、仕事ができるようになる事です。



こむれ りょうこ
小牟禮 亮子さん

～八十一路の峠を越えて～

突然の脳出血の手術で、脳高次機能障害と診断され、14年余り皆さんの手を借りながら車椅子生活をしております。心優しい友達や、施設の職員さん、弟妹達で感謝しながらの生活です。



デイやショートを送迎の車で窓を眺めていると、野草の花々が目に入り、下手な絵を時々描いています。幸いにして右手は大丈夫ですから、文や絵手紙など送っています。親しい友達4人、我が家に招いて一緒に絵手紙を描いていますが、もう三年近くになります。月1回ですが、お喋りしながら楽しんでます。

一人いる時は短歌でもと思い、本を読んでいます。失語症で声を出しながら一字一句書いていますが、支離滅裂で中々文章にはなりません。好きな言葉は「過去は懐かしむより、未来を期待するよりも、今を大事に生きよう」高野山真言宗管主の言葉です。最後の夢は2020年東京オリンピック開催まで、元気に生きることです。

表紙の写真のお二人の 私の夢

かやま あいこ
香山 アイ子さん

「ひ孫が大きく成長して、学校へ行くところや背広着て仕事へ行くところを見たい。」



たにぐち ふみこ
谷口 文子さん

「食べることが一番大事。魚いち(魚100g)、豆いち(豆100g)、野菜4(野菜400g)、バランスよく食べて、死ぬまで元気でいたい。」

葵会デイサービス

葵会デイサービスでは、昨年7月から個別機能訓練を始めました。個別機能訓練とは、「その方の身体状況や生活状況を把握し、自宅で可能な限り自立して暮らし続けることを目的とする訓練」です。



足を高く上げ
足踏みの訓練



調理・洗い物の訓練

個別機能訓練の風景

個別機能訓練の詳細内容は、ホームページ
居宅のブログ「寄り添うこと」をご覧ください。
ホームページ <http://www.aoi-st.aoikai.net/>



車イスに座った
状態から立つ訓練



タオルを使用した訓練

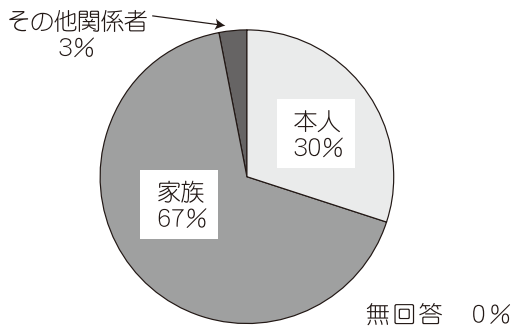
個別機能訓練は、職員がご利用者さんの生活環境を把握し、分析・評価します。その後、個別に目標を立てて実施しています。上記写真以外にも、ベッドからの起き上がり訓練や、洗濯物を干す・畳む動作など、沢山のメニューがあり、その方に合った、適切な訓練を提供しています。

葵会デイサービスでは、ご利用者さんが今まで通り自宅で暮らし続けられるように、個別機能訓練を通じて援助して行きます。

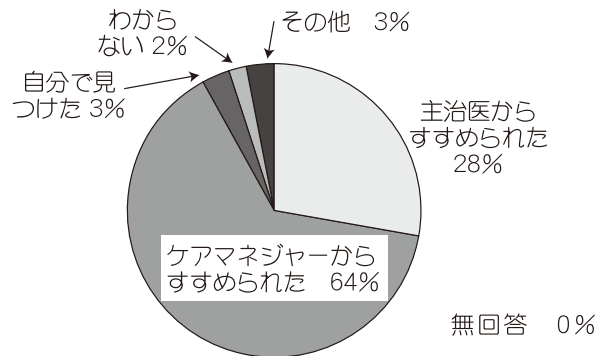
訪問看護 満足度調査 2015年度

配布数 96件 回収数 63件 回収率 66%

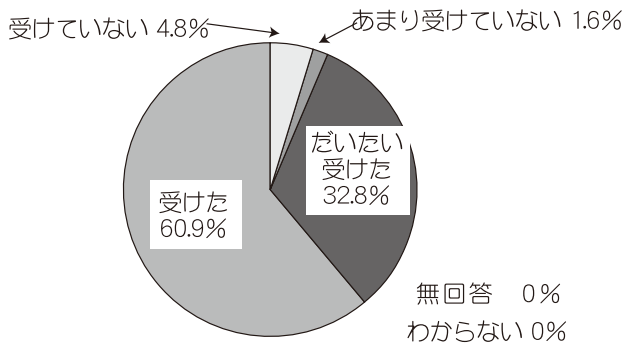
1) 記入される方はどなたですか



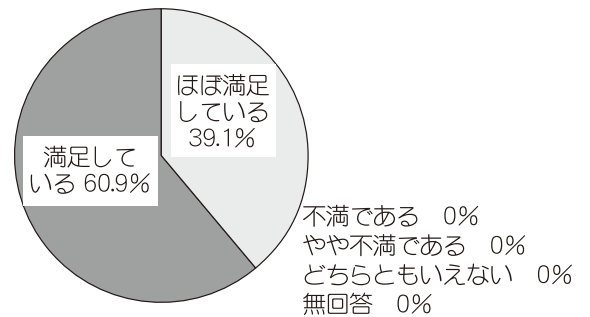
2) 当ステーションを選んだ理由は何ですか



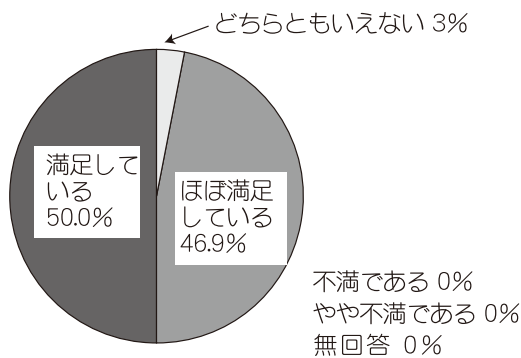
3) 契約締結又は利用開始にあたり訪問看護についてのわかりやすく説明を受けられましたか



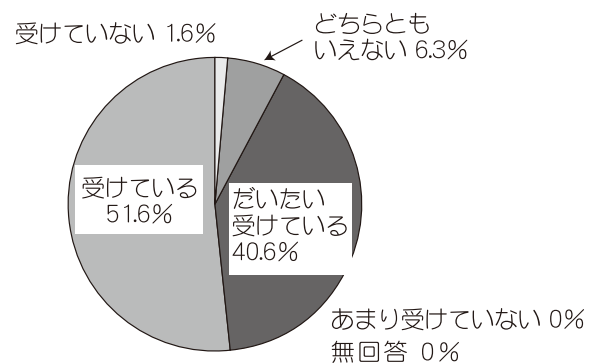
4) 看護師の態度や身だしなみ、言葉使いなどはいかがですか



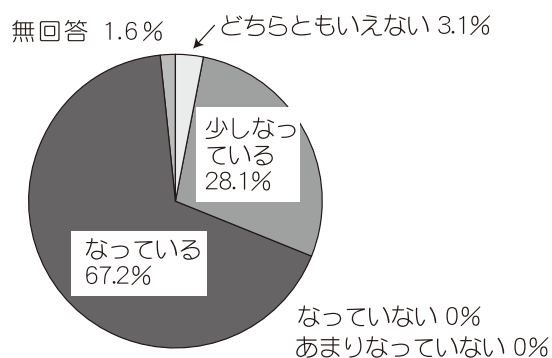
5) 提供している看護内容はいかがですか



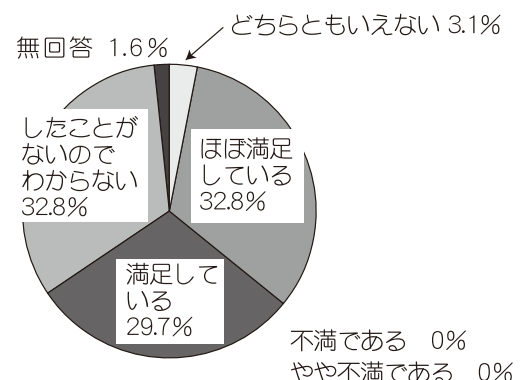
6) 看護師に介護や病気のことをいつでも相談し、納得できる助言を受けていますか



7) サービスを受ける事で介護への負担や不安が少しでも軽くなっていますか



8) 苦情や改善の要望をした時の看護師の対応はいかがですか



訪問看護アンケートにご協力ありがとうございました。

全体として、各項目において、「満足している」という評価は、前年度より低めで「ほぼ満足している」という評価の方が多くなっていました。

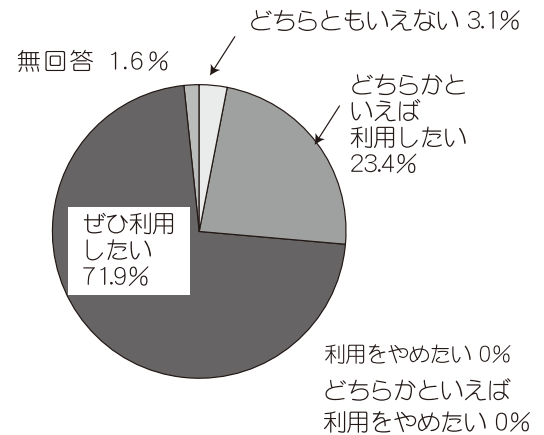
「訪問は、本人や家族との信頼関係が大切だと思っています。事業所の都合で何人も変わられると困ります」というご意見がありました。事業所としては、複数の目で見て検討するという事と、緊急時の対応が誰でも出来るようにしておく事を大切にしていますので御協力をお願い致します。

「アドバイスが、少し頼りなく思ったりします」というご意見に対して、今後は、スタッフ間で共有し、スタッフ一人一人の看護技術、知識の向上に努め、よりよい看護を目指していきたいと思ひます。

利用者、家族の皆様の思いに寄り添い、引き続き葵会の訪問看護を利用したいと思っただけの様に、今後もより一層の努力をしまひます。

訪問看護管理者 岩村 留美子

9) 訪問看護を当ステーションで引き続き利用したいと思われませんか



訪問看護の一日



朝のミーティング

スタッフが集まり、利用者さんの情報を共有したり、訪問予定を確認します

常勤・非常勤合わせて11名の女性職員です。最近では若い看護師も増え、活気のある職場です。職員の中には、日本救急医学会LCLSインストラクター、日本糖尿病療養指導士、認知症ケア専門士の資格を持った者がいます。24時間365日、どんな状況であっても住み慣れたご自宅で過ごせる様に、これからも私たちが応援します。



今日の血圧はどうか？

訪問時に体温・脈拍・血圧・呼吸回数・酸素飽和度を測ります。

足も身体もポカポカしてきて、気持ちが良いです



足浴

足を清潔にすることはもちろん、血行を良くし、リラックスする効果もあります。



よー歩いたわ
ちょっと休憩

リハビリ

気分転換をはかり、筋力向上を目指します。



気持ちえーなー
いつもありがとう



ビニール浴での入浴

ベッドにビニールを広げ、寝たまま入浴ができます。寝たきりの人にも入浴の機会を持っていただけます。

新入職員紹介



伊澤 由美
デイサービス

10月より勤務させて頂いている伊澤です。5月に資格をとったばかりで、葬会デイサービスが初めての職場となります。不慣れでわからないことばかりですが、皆さんから多くのことを学び一日も早く業務に慣れるように頑張ります。皆さんと過ごせる一日一日を大切に良い時間を作っていけたらと思います。



竹村 順子 ケアマネジャー

11月に紫野協立診療所から異動となりました。久しぶりのケアマネ業務でとまどいが多い状態です。ぼちぼち頑張りますのであたたかく見守っていただけるとありがたいです。

異動職員紹介



池田 世子
ケアマネジャー

思えば約3年間無我夢中…。一人のケアマネジャーとしてこの葬会居宅支援事業所でお仕事させて頂きました。不安な時や悲しい時、疲れた時も元気(と私には思える)な仕事仲間や優しい利用者さんに支えられ、これまでやって来られたことを感謝し、少しだけ人として成長したことを自負して、次はより地域に密着した「包括支援センター」という部署で新たな利用者さんに関わらせて頂きます。「私に何が出来るかしら」と90の不安、10の期待を携えて…。ありがとうございました。

「じりじりと照りつける太陽に原爆投下の日を思う」

～2015年原水爆禁止世界大会に参加しました～

早朝から新幹線と貸し切りバスを乗り継ぎ、現地へ到着。開会式は5000人が参加し、22か国から141名の海外代表の参加がありました。

『被爆者の訴え』では、16歳の時に郵便配達をされていて被爆した方から、背中への火傷のため3年7か月の間うつ伏せのままで胸に床ずれが出来、骨まで腐ったという経験を聞きました。「核兵器廃絶のため、命ある限り訴え続けたい。戦争法案は許さない」と、声がかすれて話せなくなってしまった本人に代わり2世の方が訴えられました。

2部では、故・渡辺千恵子さんの転機と人生を綴った合唱組曲「平和への旅」の発表があり、涙なしに聴くことはできませんでした。

2日目は、核兵器廃絶のために活躍する世界の代表者とNGOの代表者によるパネルディスカッションでした。テーマは、「国際政治の場でいかに核廃絶を目指すのか」で、「他の成功した運動事例から学ぶべき」「選挙で直



葬会訪問看護ステーション 野崎 文美子

接、政治家に働きかけることが有効」等の討論があり、日本原水協の土田事務局長からは世論を高める新しい署名を考えると意見が出ました。

また、少しの時間でしたが路面電車に乗り、町を歩くことができました。原爆資料館では外国人観光客の姿も多くあり、ここで見たことを少しでも多くの人に伝えてほしいと思いました。

3日目の閉会総会は、国内外から6000人が参加し黙とうを捧げました。強烈な印象だったのは、8歳の時に被爆した奥村アヤ子さんが語った壮絶な体験でした。

「唯一の被爆国」に住む私たちに出来ることは原水爆禁止の世界の動きを知ること、被爆者の声を知り広めること、署名をすること、原爆投下の地を訪れること、原水爆世界大会に参加する事ではないでしょうか。

最後に、今回長崎大会に参加する為に資金を集めてくださった方々、協力して下さった方々にお礼を申し上げます。



いつでも、どこでも、安心、安全な介護を！ 介護ウェブのうねりを起こそう！



私たち民医連で働く職員は、介護保険制度を改正し、高齢者の保険料・利用料の負担を引き上げようとする国の動きに強く反対し、行動を起こしています。

2015年11月、八坂神社前にて介護ウェブ宣伝を行いました。総勢60名で介護署名を集め、介護のビラ入りティッシュを配り、元気に宣伝を行いました。民医連で働く職員が、リレートーク形式でスピーチを行い、「介護職を続けたい！」「介護を受けたくても利用できなくなる！」と、介護職の働きがいや介



護保険の現状・利用者さんがおかれている生活現状を訴えました。

皆様には「介護保険制度の改善・介護報酬の引き上げ、介護従事者の確保・処遇改善を求める署名」への協力をお願いいたします。京都で1万筆、全国で10万筆を集めて国会に届け、大きな介護ウェブのうねりを起こしたいと思います。

「認知症の母親を在宅で介護して」

～男性介護者の体験を聞き、語り合う集いに24名参加～



林さんの介護体験を聞きました

共働きで働きながら認知症を持つお母さんの介護をする事がきっかけで、男性介護者を支援する会を立ち上げた林政廣さんのお話を聞きました。教師という仕事をもちながら、介護保険や職場の制度を上手に使い、また、介護者同士が共感出来る居場所作りのため介護者の会の活動を始められました。定年後は、介護する人もされる人も両方が幸せになれる介護をめざし、アルバイトと介護を週の半分ずつにしたり、兄弟とも介護を分かちあいながら工夫してこられました。

その間ショートステイでの食事代を是正する運動を行い、改善がされるなど、制度の改善にも尽力されました。そしてお母さんが亡くなられた後も、介護者の会の代表として、いきいきと活動されています。

林さんの講演を受けて2つのグループで、日ごろの介護の悩みや感想を出し合いました。参加者からは、「認知症であることは分かっているが、イライラが出てしまう。子供のころの優しい母親を思い出し、自分を諫めている」「妻の介護をしている。排泄の介助で夜もなかなか眠れないが、しんどい時は昼寝をしたらよいと割り切って実践している」「今日の話聞いて、やさしい声かけに心掛けたい。母との時間も残りわずか、後悔しないようにしたい」など活発に意見が出されました。

介護者同士が悩みを出し合うことや知恵を出し合いながら、少しでも息抜きして介護を続けていけるように、今後も取り組んでいきたいです。



グループで話し合いました

デイサービスの風景

壁紙作り「芸術の秋・作品集」



「芸術の秋」には、利用者の皆さんの作品を壁紙に仕上げました。「塗り絵」や「習字」、「切り絵」や「折り紙」など、利用者さんに取り組んでみたいことを選んでいただき、仕上げてくださいました。作品の周りには、画用紙や折り紙で模った、紅葉や銀杏の葉を散りばめて、季節感を演出しました。

紅葉ドライブ

2015年11月、葵会デイサービスでは毎年恒例の紅葉ドライブを開催いたしました。今年の紅葉は例年に比べ色付きがいまいちでしたが、楽しみにされていた皆さんは外の空気をいっぱい吸って、季節感を味わいながらドライブを満喫されていました。



車内では「もみじ」の歌を歌われていた方や、懐かしい思い出話を聞かせてくださった方など、紅葉ドライブを色々な形で楽しまれていました。

大運動会



葵会デイサービスの運動会の風景です。種目は、新競技「ペットボトル運びリレー」、運動会定番の「玉入れ」、そして「職員による借り物競走」に取り組んでいただきました。運動会は、代表の利用者の方が選手宣誓を行い開催します。皆さん、とても熱くなられ、「こっちのチーム、人数少なくないか？」とずっと人数を数えている方もおられました(笑)そして毎年盛り上がる、職員の出し物「借り物競争」では、真剣に職員同士がチームを代表して対決!ある男性職員は、借り物には見事成功しましたが、最後の工程「紙風船をお尻で割る」ことが出来ず、真剣に繰り返している姿に大爆笑が起きました(笑) 紅チーム、白チーム、共に全力で取り組んでくださり、大いに盛り上がった運動会となりました。

